

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
現代の国語	普通科・1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 現代の国語（東京書籍） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 教科書準拠学習ノート（東京書籍） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 速読トレーニング <input type="checkbox"/> 傍用参考書 五訂版常用漢字オールクリア（尚文出版） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 現代文問題集（尚文出版） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 現代文単語帳
-------------	--

科目の目標		
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成する。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>実社会に必要な国語の知識や技能をICTや辞書、補助教材を用いて身に付けるようにする。</p>	<p>協働的かつ対話的な活動をとおして論理的に考える力や、深く共感したり想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>	<p>各種検定試験の受験や作文コンクールへの主体的な参加を促しながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活上、必要な国語の知識や技能について理解し、活用することができる。 ア言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解している。 イ常用漢字の読み書きに慣れ、文章の中で使うことができる。 ウ実社会で必要な語句の量を増やし、その構造や用法等について理解し、実際に活用することで、語感を磨き語彙を豊かにする態度を育むことができた。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を取り巻く環境や状況について客観的かつ論理的に思考を重ね、他者と伝え合うことで更に思考を深め、周囲への共感的態度を涵養する。 ア主張と論拠など情報と情報との関係について理解していること。 イ個別の情報と一般化された情報との関係について理解していること。 ウ推論の仕方を理解し使うことができるようになること。 エ情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 オ引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会のさまざまな話題や課題に幅広く関心を持ち、言葉をとおして自他の存在について理解を深めようとしている。 ・粘り強く本文の要点を把握し、学習課題に沿って視点を変えてみることを理解し、自ら論点における課題を調べようとしている。 <p>以下の事柄を評価対象とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・提出物(提出状況及び取組内容) ・各種検定試験への取組について、その成果が顕著であった場合も評価の対象とする。
<p>※定期考査および単元小テスト、 「思考・判断・表現」分野は言語活動も評価対象とする</p>		
<p>上記の内容について、取組や成果が特に顕著であった場合、A 評価とします。</p>		

学習計画

月	単元	時数	学習項目
4	「身銭」を切るコミュニケーション(内田樹)	4	語彙力向上, 修辞(比喩, 例示等) 読解の基礎(例示から作者の意図を把握)
5		6	語彙力向上, 修辞(比喩, 例示等) 論の展開(対比, 言い換え等) 文化論について
6	水の東西(山崎正和)		
7	実用の文章 (資料読解編) (実践編(小論文に向けて))	5	様々な資料の読解の基本について。 効果的に他者に伝えるためには。 表現の実践①(意見文)
8	共鳴し引き出される力(伊藤亜紗)	7	語彙力向上, 修辞(比喩, 例示等) 語句の本文中での定義を確認し, 主旨を把握する(「能力」「予防」「予備」等)。 言語活動(ジグソー活動)
9			
10	生物の多様性とは何か(福岡伸一)	6	語彙力向上, 修辞(比喩, 例示等) 本文中で指摘されている事象について, 自身の周辺環境と比較しながら考察を深める。 言語活動(調べ学習)
11	暇と退屈の倫理学(國分功一郎)		
12	小論文の書き方について	6	語彙力向上, 修辞(比喩, 例示等) 筆者が引用した箇所の読解から筆者の意図を理解する(『豊かな社会』)。
	小論文の書き方について	2	表現の実践②(引用と主張の関係性)
1	学ぶことと人間の知恵(広中平祐) 人工知能の現在と未来 (羽生善治・篠原弘道)	5	語彙力向上, 修辞(比喩, 例示等) 二つの文章を読み比べながら共通点や相違点をみつけ, 論理的に説明する。
2	小論文の書き方について	4	表現の実践③(検証し比較する)
3	広告の形而上学(岩井克人)		
	広告の形而上学(岩井克人)	2	語彙力向上, 修辞(比喩, 例示等) 資本主義における広告の意義について, 例示されている事柄を参考にして理解する。

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
言語文化	普通科・1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 精選言語文化（東京書籍） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 教科書準拠学習ノート（東京書籍） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 ダブルマスター古典文法＋漢文句形 <input type="checkbox"/> 傍用参考書 ダブルマスター古典文法＋漢文句形準拠学習ノート <input type="checkbox"/> 傍用参考書 五訂版常用漢字オールクリア（尚文出版） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 学習課題用問題集
-------------	--

科目の目標		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動をとおして、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準 [知識・技能] ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、活用できるようにする。また、言語生活を豊かにするために我が国の言語文化について理解している。 ア言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 イ常用漢字の読み書きに慣れ、文章の中で使うことができる。 ウ我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすることができた。 エ我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解できた。 オ古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。また、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについても理解できた。 カ我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について思索を深めた。</p>	<p>B 評価の規準 [書くこと] ・自分の知識や体験の中から適切な材料を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にできた。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫できた。 [読むこと] ・様々な時代に書かれた我が国の伝統や文化に関する文章を読み、先人の考え方について論理的に読み取り、共感したり想像を働かせたりするとともに、その内容について他者と共有することで思索を深めることができた。</p>	<p>B 評価の規準 [主体的に学習に取り組む態度] ・文章を読むことをとおして、現代の私たちを取り巻く社会や自然に対する関心を高めることができた。 ・広い視野で物事を捉え、国際理解を深めるとともに、国際協調の精神を高めるために、学んだ内容を活用できた。</p> <p>以下の事柄を評価対象とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・提出物(提出状況及び取組内容)
<p>※定期考査および単元小テスト、 「思考・判断・表現」分野は言語活動も評価対象とする</p>		
<p>上記の内容について、取組や成果が特に顕著であった場合、A 評価とします。</p>		

学習計画

月	単元	時数	学習項目
4 5	耳覚めの季節(青山七恵)	4	語彙や表現に関する理解を深める。 展開や構成に留意し、筆者の意見を捉える。
	訓読の基本(漢文入門)	3	訓読法, 音読, 返読文字, 再読文字
6	助長(孟子)	3	語句の学習, 歴史的・文化的背景などの理解
	児のそら寝(宇治拾遺物語)	3	語句の学習, 歴史的・文化的背景などの理解 歴史的仮名遣いの理解
7	羅生門(芥川龍之介)	6	登場人物の心理描写の読解を通して主題を把握し、普遍性を実感する。言語活動
8	ある人、弓射ることを習ふに(徒然草)	4	語句の学習, 主題の把握
9		文法事項(用言(動詞)について)	
10 11	富嶽百景(太宰治)	8	語彙や語句に関する理解を深める。 比喩表現の理解を通して主題を把握する。 言語活動
	和歌(古今・新古今)	2	語彙力向上, 表現技巧の理解
12	筒井筒(伊勢物語)	4	語句の学習, 主題の把握 文法事項(用言(形容詞・形容動詞)について 助動詞について, 係り結びの法則について)
1 2	晏子之御(史記)	4	語句の学習, 主題の把握 言語活動(登場人物の人物像)
	富士の山(竹取物語)	6	語句の学習, 歴史的・文化的背景などの理解 文法事項(用言について, 係り結びの法則)
3	一つのメルヘン(中原中也)	3	言語活動 幻想的なイメージを味わい、そこに込められた作者の心情について考える。

令和6年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 年間学習指導計画及び年間評価計画（兼シラバス）

科目	学年	教科書名・出版社	授業担当者	単位数
	学科			
公共	1年	高等学校 新公共 第一学習社		2
	全科			
科目の目標				
<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) 現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人間としての在り方生き方についての自覚や、公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>				
評価の観点別割合	知識・技能			40
	思考・判断・表現			30
	主体的に学習に取り組む態度			30

定期考査実施時期：1学期期末考査（6月下旬）、2学期中間考査（10月上旬）、
2学期期末考査（12月下旬）、学年末考査（2月上旬）など

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準
					【知 技】:知識・技能 【思判表】:思考・判断・表現 【主体的】:主体的に学習に取り組む態度
4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	3	・公共的な空間と人間とのかかわり ・社会に参画する自立した主体として	○1社会に生きる私たち 2個人の尊厳と自主・自律 3多様性と共通性 4キャリア形成と自己実現 5伝統や文化とのかかわり	【知技】・人生の中で青年期はどのような意味をもつのか、自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。 【思判表】・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 【主体的】・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
4	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	3	・人間としてのあり方生き方についての探求 ・選択・判断の手がかりとなる倫理的価値	○1人間と社会のあり方についての見方・考え方 2環境保護 3生命倫理 4公共的な空間を形成するための考え方 5よりよく生きる行為者として活動するために	【知技】・行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思判表】・幸福、正義、公正などに着目して考えている。 【主体的】・公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
5	第3章 公共的な空間における基本的原理	6	・自立した主体となることに向けて ・よりよい公共的な空間づくりをめざして	○1人間の尊厳と平等 2個人の尊重 3民主政治の基本的原理 4法の支配 5自由・権利と責任・義務 6世界のおもな政治体制 7日本国憲法に生きる基本的原理	【知技】・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思判表】・公共的な空間における基本的原理について考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】・公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
6	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち	4	・法や規範の意義と役割	○1私たちの生活と法 2法と基本的人権 3自由・平等と法・規範 4法をよりよく変えていくために	【知技】・法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 【思判表】・生徒に身近な紛争や課題を取り上げ、どのようにすれば公平・公正に調整できるのか、主体的なルールを作成・利用することで考察、構想、表現している。 【主体的】・法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
6	第1章 法的な主体となる私たち	2	・契約と消費者の権利・責任	○1さまざまな契約と法 2消費者の権利と責任	【知技】・契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 【思判表】・幸福、正義、公正などに着目して考えている。 【主体的】・契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を具体的な例をもとに、主体的に解決しようとしている。
7	第1章 法的な主体となる私たち	4	・司法参加の意義	○1裁判所と人権保障	【知技】・国民の権利を守り、社会秩序を維持するために、公正な裁判が保障され、法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。 【思判表】・具体的な主題を設定し、その主題を追究・解決するために考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的】・司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準
					【知 技】:知識・技能 【思判表】:思考・判断・表現 【主体的】:主体的に学習に取り組む態度
8 9 10	第2章 政治的な主体となる私たち	8	・政治参加と公正な世論の形成	○1選挙の意義と課題 2政治参加と世論形成 3国会と立法 4内閣と行政の民主化 5地方自治と住民の福祉	【知技】・政治参加と世論形成に関わる事柄や課題を理解している。国会の地位と構成・権限、議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について理解している。 【思判表】・選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考察、構想し、表現している。 【主体的】・政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
10 11	第2章 政治的な主体となる私たち	4	・国際社会と国家主権	○1国家と国際法 2国境と領土問題 3国際連合の役割と課題	【知技】・国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 【思判表】・国際法の意義と役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的】・国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
11	第2章 政治的な主体となる私たち	4	・日本の安全保障と防衛	○1平和主義と安全保障 2核兵器の廃絶と国際平和	【知技】・日本国憲法の平和主義について理解を深めることができる。 【思判表】・日本国憲法の平和主義をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】・日本の安全保障と防衛について、諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。
11 12	第2章 政治的な主体となる私たち	4	・国際社会の変化と日本の役割	○1今日の国際社会 2人種・民族問題と地域紛争 3国際社会における日本の役割	【知技】・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 【思判表】・国際社会の安定について、国民レベル、国家レベル、国際レベルで何ができるかを、さまざまな観点から考察し、論拠をもって表現している。 【主体的】・国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
12 1	第3章 経済的な主体となる私たち	4	・雇用と労働問題	○1私たちと経済 2労働者の権利と労働問題	【知技】・企業・家計・政府の三つの経済主体を考え、経済的な主体となる私たちは、どのように経済活動に参加しているのか、理解している。 【思判表】・雇用と労働問題について、日本の雇用慣行の崩れなど、現代の諸課題を主体的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 【主体的】・雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。
1	第3章 経済的な主体となる私たち	4	・社会の変化と職業観	○1技術革新の進展と産業構造の変化 2企業の活動 3農林水産業の現状とこれから	【知技】・社会の変化と職業観について、人工知能の進化の影響など、現代の諸課題を理解している。 【思判表】・技術革新の進展による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、身近な問題と関連させて考察、構想し、論拠をもって表現している。 【主体的】・社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ	普通科・1年	数学Ⅰ：3 数学A：1 数学Ⅱ：1	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 新編 数学Ⅰ, 新編 数学A, 新編 数学Ⅱ (数研出版) <input type="checkbox"/> 問題集 Study-Up ノート
------	---

科目の目標		
<p>○以下の分野について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。</p> <p>数学Ⅰ：<u>数と式</u>, <u>図形と計量</u>, <u>2次関数</u>, <u>データの分析</u> 数学A：<u>図形の性質</u>, <u>場合の数と確率</u>, (2年次：数学と人間の活動) 数学Ⅱ：<u>いろいろな式</u>, (2年次：図形と方程式, 三角関数, 指数関数・対数関数, 微分・積分)</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各分野についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	以下の力を養う。 ・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力 ・図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力 ・事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力 ・適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力 ・図形の性質を見だし、論理的に考察する力 ・等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（評価場面）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○観点別目標の達成や取組の状況において</p> <p>「十分満足できる」状況と判断される場合「A」（点数での目安：7割以上）</p> <p>「おおむね満足できる」状況と判断される場合「B」（点数での目安：3割以上7割未満）</p> <p>「努力を要する」状況と判断される場合「C」（点数での目安：3割未満）と評価する。</p>		
<p>○「知識・技能」の評価問題を理解している。</p> <p>（到達度チェックテスト）</p> <p>（授業時の解答状況等）</p> <p>（自己評価）</p>	<p>○「思考力・判断力・表現力」の評価問題を理解している。</p> <p>（到達度チェックテスト）</p> <p>（授業時の解答状況等）</p> <p>（自己評価・相互評価）</p>	<p>○授業に臨む態度等（日々の授業時）</p> <p>○課題（宿題）等の取組状況（プリント・ノート等）</p> <p>○努力度・理解度の自己評価（到達度チェックテスト）</p> <p>※「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえたうえで評価する。（例：CCA という評価はほぼありえない。）</p>
<p>○主に単元末または節末ごとに実施する「到達度チェックテスト」にて評価する。</p> <p>なお、定期考査は実施しない予定です。</p>		

学習計画

月	単元	時数	学習項目
4	【数学Ⅰ】 第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数	11	1. 多項式の加法と減法 2. 多項式の乗法 3. 因数分解 ○到達度チェックテスト 4. 実数 5. 根号を含む式の計算
5	第3節 1次不等式 第2章 集合と命題	12	○到達度チェックテスト 6. 不等式の性質 7. 1次不等式 8. 絶対値を含む方程式・不等式 ○到達度チェックテスト 1. 集合 2. 命題と条件 3. 命題とその逆・対偶・裏 4. 命題と証明
6	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化	18	○到達度チェックテスト 1. 関数とグラフ 2. 2次関数のグラフ ○到達度チェックテスト 3. 2次関数の最大・最小 4. 2次関数の決定 ○到達度チェックテスト
7	第3節 2次方程式と2次不等式	10	5. 2次方程式 6. 2次関数のグラフとx軸の位置関係 7. 2次不等式 ○到達度チェックテスト
8	第4章 図形と計量 第1節 三角比	4	1. 三角比 2. 三角比の相互関係
9	第2節 三角形への応用	18	3. 三角比の拡張 ○到達度チェックテスト 4. 正弦定理 5. 余弦定理 6. 正弦定理と余弦定理の応用
10		19	7. 三角形の面積 8. 空間図形への応用 ○到達度チェックテスト

	第5章 データの分析		1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばりと四分位数 4. 分散と標準偏差 5. 2つの変量の間関係 6. 仮説検定の考え方 ○到達度チェックテスト
11	【数学A】 第2章 図形の性質 第1節 平面図形	16	1. 三角形の辺の比 2. 三角形の外心・内心・重心 3. チェバの定理・メネラウスの定理 4. 円に内接する四角形 5. 円と直線
12	第2節 空間図形 【数学II】 第1章 式と証明 第1節 式と計算	13	6. 2つの円 7. 作図 ○到達度チェックテスト 8. 直線と平面 9. 空間図形と多面体 ○到達度チェックテスト 1. 3次式の展開と因数分解 2. 二項定理 3. 多項式の割り算
1	第2節 等式・不等式の証明	10	4. 分数式とその計算 5. 恒等式 ○到達度チェックテスト 6. 等式の証明 7. 不等式の証明 ○到達度チェックテスト
2	【数学A】 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	10	1. 集合の要素の個数 2. 場合の数 3. 順列 4. 組合せ ○到達度チェックテスト
3	第2節 確率	9	5. 事象と確率 6. 確率の基本性質 7. 独立な試行と確率 8. 条件付き確率 9. 期待値 ○到達度チェックテスト

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
物理基礎	1年普通科・総合ビジネス科3年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 新編 物理基礎（数研出版） <input type="checkbox"/> 物理基礎研究ノート（博洋社）
------	---

科目の目標		
<p>日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</p>	<p>観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p>	<p>物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりするなど、適切にメモに残している。 ・学習活動に真剣に取り組む、確認テスト等で振り返ることができている。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・学習や観察及び実験に仲間と協力して取り組み、自らの考えを記述している。 ・学習内容や観察及び実験の方法を正しく理解し、結果をまとめることができる。	B 評価の規準 [粘り強さ] ・学習課題に自ら取り組み、仲間と協力して考え、結果をまとめることができる。教師のスタンプがある。 [自分なりの工夫] ・教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりするなど、独自の記述が3か所以上ある。マーカーやアンダーラインも工夫している。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、単元テスト・定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	物理量の扱い方 第1章 運動の表し方	2	物理量の扱い方
		3	①速度
5		3	②加速度
		3	③落体の運動
6	第2章 運動の法則	3	①力とそのはたらき
		4	②力のつり合い
7		3	③運動の法則
		4	④摩擦を受ける運動
8			
9	第3章 仕事と力学的エネルギー	2	⑤液体や気体から受ける力
		3	①仕事
		3	②運動エネルギー
10		2	③位置エネルギー
		3	④力学的エネルギーの保存
11	第1章 熱とエネルギー	4	①熱と物質の状態
		4	②熱と仕事

12	第1章 波の性質	4	1 波と媒質の運動
		4	2 重ね合わせの原理
1	第2章 音	2	1 音の性質
		3	2 発音体の振動と共振・共鳴
2	第1章 物質と電気抵抗	2	1 電気の性質
		2	2 電流と電気抵抗
		2	3 電気とエネルギー
3	第2章 電場と交流	2	1 電流と磁場
		2	2 交流と電磁波

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
生物基礎	普通科1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 i版 生物基礎（啓林館） <input type="checkbox"/> 研究ノート（博洋社）
------	--

科目の目標		
生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を計りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得するとともに、報告書を作成させたり発表させたりして、科学的に探究する力を育う。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養うことが重要である。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・学習活動に真剣に取り組む、確認テスト等で振り返ることができている。 ・観察及び実験の方法を正しく理解し、結果をまとめることができる。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・学習活動に真剣に取り組む、仲間と協力して考え、提案や発表ができる。 ・観察及び実験に仲間と協力して取り組み、自分や班の考えを記述できている。	B 評価の規準 [粘り強さ] ・学習課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 [自分なりの工夫] ・教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりするなど、独自の工夫及び記述がある。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	生物の特徴	2 4	生物の多様性・共通性 細胞の構造
5		1 1 3 2	生命活動とエネルギー ATPの構造 酵素 光合成と呼吸
6	遺伝子とその働き	1 2 3	DNAの構造と遺伝情報 DNA複製 細胞周期
7		3 5	遺伝子の発現 転写と翻訳
8			
9	神経系と内分泌系による調節	1 1 1 2	恒常性と体液 心臓 血液凝固と線溶 自律神経系

10		1	内分泌系
		1	血糖濃度の調節
		1	体温調節
		2	肝臓のはたらき
		2	腎臓のはたらき
11	免疫	2	生体防御の概要
		2	獲得免疫
		2	抗体と免疫記憶
		2	免疫と病気
12	植生と遷移	2	環境と生物
		2	遷移の過程
		2	世界のバイオーム
		2	日本のバイオーム
1	生態系とその保全	2	種多様性と食物連鎖
		2	生態系と生態ピラミッド
2		5	生態系に関する調べ学習
3		2	発表会

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
体育	1年普通科・総合ビ ジネス科	3	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次の通り育成することを旨とする。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な課題解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して技術の名称や実践、ルールやマナーを理解しようとしている。 ・課題解決法、練習法、試合法を理解しようとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに毎時の反省を記入し、自己評価をしようとしている。 ・互いに助け合い、教えあい、高め合おうとしている。 ・役割を積極的に引き受け事故の責任を果たそうとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備運動の声出し、活動時の周囲への声掛け、準備・片付けを積極的に行おうとしている。 ・活動の目的を理解し、実践しようとしている。 ・他者と協力して周囲に配慮をしようとしている。 ・健康・安全を確保しようとしている。 ・授業に積極的に参加しようとしている。
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、スキルテスト、体育理論で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画

月	単元	時数	学習項目
4	ダンス 体づくり運動	10	現代的なリズムのダンス 体ほぐし運動 体の動きを高める運動 実生活に生かす運動の計画
5	球技（選択①）	12	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
6	球技（選択①） 水泳	2 12	クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ 複数の泳法で泳ぐ、又はリレー。 着衣泳
7	水泳 体育理論	2	スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境
8	球技（選択②）	3	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
9	球技（選択②）	12	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン

			<input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
10	球技 (選択③)	1 2	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
11	陸上競技 (長距離走)	1 2	20分間走・ロード走
12	陸上競技		20分間走・ロード走
1	ダンス 球技	9	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型
2	ダンス 球技	9	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型
3	ダンス 球技	7	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
保健	1年普通科・総合ビ ジネス科	1	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 ・単元テストの内容を理解しようとしている。	B 評価の規準 ・単元の内容を理解し、文章表現しようとしている。 ・グループワークでの話し合いにより、単元の学びを深めようとしている。 ・発表の内容を分かりやすく説明したりスライドにまとめたりしようとしている。	B 評価の規準 ・互いに協力して教え合おうとしている。 ・役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。 ・授業に積極的に参加しようとしている。
※単元テスト、グループ発表の内容、スライドの作成		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	健康の考え方と成り立ち	1	座学、単元テスト
5	私たちの健康の姿	1	座学、単元テスト
6	生活習慣病の予防と回復	6	調べ学習（グループワーク）
7	がんの原因と予防		
	がんの治療と回復		
	運動と健康		
	食事と健康		
	休養、睡眠と健康	1	クラス別発表（グループ）
8	精神疾患の特徴	2	座学、単元テスト
9	精神疾患の予防		
10	精神疾患からの回復		
11	喫煙と健康	3	調べ学習（グループワーク）
12	飲酒と健康		
	薬物乱用と健康		

		1	クラス別発表（グループ）
1	健康に関する意思決定・行動選択	1	座学、単元テスト
2	健康に関する環境づくり	1	座学、単元テスト
3	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法	5	調べ学習（グループワーク）
		1	クラス別発表・学年発表（グループ）

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
音楽1	普通科1年、総合ビジネス科1年、農業食品科1年、グリーン環境科1年、社会福祉科1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 MOUSA I (教育芸術社) <input type="checkbox"/> 高校生の歌集 つどい
------	---

科目の目標		
<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。</p>	<p>自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p>	<p>主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している。	B 評価の規準 [自ら表現意図を持っている] ・自己のイメージをもって歌唱、器楽表現ができてい る。	B 評価の規準 [主体的・協働的] ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、発表ができる。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、実技試験で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	【歌唱】 曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう。	6	校歌/Ave Maria 「ヴォイス・トレーニング」 翼をください
5 6	【歌唱】 J-POP や歌謡曲の特徴を理解して歌おう。 【鑑賞】 音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう	10	【歌唱】 Lemon/星に願いを/負けないで/クリスマス・イヴ/若者の全て 【鑑賞】 組曲《動物の謝肉祭》
7	実技試験 【鑑賞】 ピアノによる様々な表現を聴き取ろう。	6	リスト〈ラ・カンパネラ〉 ピアノ・ソナタ第23番《熱情》

8 9	【歌唱】【鑑賞】 ミュージカル・ナンバーを歌おう	8	歌唱：Memory/美女と野獣 鑑賞：ミュージカル《キャッツ》/ミュージカル映画『美女と野獣』
10 11	【器楽・創作】 和楽器（箏）に親しみ、演奏に挑戦しよう。	10	基本奏法を身に付ける 音階練習 さくら さくら変奏曲
11 12	【器楽】 表現を工夫してギター弾き歌いに挑戦しよう。 実技試験	8	7つのコード セーハを使う曲 ストローク奏法 日曜日よりの使者
1 2	【創作】【歌唱】 発音や発声を工夫して声によるアンサンブルをつくろう。	8	故郷 ぼくはぼく サザエさん 創作：「オノマトペでリズム・アンサンブルをつくろう」
3	【鑑賞】 世界の諸民族の音楽 1年間のまとめ	4	アリラン オルティンドー

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
美術 I	普通科、総合ビジネス科、農業食品科、グリーン環境科、社会福祉科 1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 美術 1 (光村図書)
------	--------------------------------------

科目の目標		
美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
33%	33%	34%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B評価の規準 [わかった・できた] ・題材に関する知識を学び取るっている。 ・題材を表現するための道具を扱う技術、技法を理解している。 ・美術作品の良さ、作家の表現の意図や工夫を学び取ろうとしている。	B評価の規準 [よく考え、考えをまとめ、表現できた] ・題材の特徴を捉え、主題を考え、構想している。 ・構想をもとに素材の特性を理解しながら表現しようとしている。	B評価の規準 [粘り強さ] [自分なりの工夫] ・学習活動に真剣に取り組んでいる。 ・構想をもとに自分なりの表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。 ・他者の作品の良さを感じ、学び取ろうとしている。 ※作品の未提出や私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価になります。
※定期考査なし。授業態度、作品制作、提出物で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	1	・年間の目標や美術の領域を理解する
5	「身近なものを描く」 ～鉛筆デッサン～	8	・鉛筆の削り方 ・鉛筆の描く時の持ち方 ・鉛筆の調子の乗せ方 ・立体表現 ・陰影のつけ方 ・質感表現 ・果物、野菜のデッサン ・相互鑑賞
6	「点が生み出す表情」 ～ピクセルアート（ドット絵）～	10	・ピクセルアートの美術作品を鑑賞し、特徴を学ぶ ・色についての基礎知識を学ぶ
7			・平塗りの技法を身に付ける ・ピクセルアートの絵柄を考え、制作する

			・相互鑑賞
8			
9	「マークやサインで伝える」 ～ロゴマークデザイン～	14	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローイングアプリ（アイビスペイント）の扱い方を身に付ける ・ロゴマークの分析をもとにデザイナーの表現意図や工夫を学ぶ ・オリジナルのロゴマークデザインを考える ・デザイン画をドローイングアプリで清書する ・相互鑑賞
10			
11	「干支の動物を描く」 ～消しゴムハンコ～	10	<ul style="list-style-type: none"> ・消しゴムハンコ作家の制作の様子や作品を見て特徴や制作手順、技法を学ぶ ・練習課題に取り組み、カッターなどの道具を扱う技能を高める ・干支の動物の特徴を踏まえながら個性的なデザインを考える ・デザイン案をもとに消しゴムハンコを彫り、紙に刷る ・相互鑑賞
12			
1	「西洋美術史」	5	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から現代までの西洋美術の特徴を知ることによって諸外国の美術作品や文化遺産などから美意識や創造性などを感じ取る。 ・日本美術との相違点や共通点などを考え、見方や感じ方の理解を深める。
2	「生命感をあらわす」 ～心動かされる動物像を作る～	12	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻家三沢厚彦の作品「ANIMALS」を鑑賞し、単純化されても動物の本質に迫る表現の面白さを学ぶ ・自分なりの表現で動物の絵を描く ・絵をもとに断熱材を使い、動物像を制作する ・相互鑑賞
3			

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
書道 I	普通科、総合ビジネス科、農業食品科、グリーン環境科、社会福祉科1年	2	

使用教材	□書 I (光村図書)
------	-------------

科目の目標		
<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p>	<p>書の上さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p>	<p>主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の基準 [わかった・できた] ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。 ・単元に関する知識を学び取っている。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・用筆、運筆、字形を構想し工夫し、相手に伝えることができている。 ・全体の調和や目的に則した表現形式など、意図に基づいて構想・工夫し、相手に伝えることができている。	B 評価の規準 [主体的] ・書の学習を通して自らの創造的な力を高めようとしている。自らの感性を高め、書の伝統と文化に親しもうとしている。 [粘り強さ] ・表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。
※定期考査は実施しません。 提出された作品やワークシート、授業態度で評価します。		※作品やワークシートの未提出、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人は C 評価となります。
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	4	・中学校国語科書写で学んだことの確認 ・用具用材について～文房四宝～ ・姿勢や執筆法
5	【漢字の書】 楷書の学習 楷書古典の鑑賞、比較	2	・楷書の特徴 ・表現の比較
6	楷書古典の臨書 ① 九成宮醴泉銘	5	・九成宮醴泉銘の臨書 直線的で鋭い点画 緻密に構成された点画 縦長で背勢

7	② 牛概造像記	5	・牛概造像記の臨書 鋭角的な点画 点画の角張った字形(方勢)
8			
9	③ 顔氏家廟碑	5	・顔氏家廟碑の臨書 力のこもった用筆 蚕頭燕尾 正方形で向勢
10	楷書の創作	5	・既習の楷書古典の中から一つ選ぶ ・古典の特徴を生かした創作作品の制作
11	行書の学習 行書古典の臨書 ① 蘭亭序	6	・行書の特徴 ・蘭亭序の臨書 流れの中に抑揚を利かせた用筆 多様な字形
12	② 風信帖	5	・風信帖の臨書 重厚感のある用筆 安定した字形
1	【仮名の書】 仮名の学習 古筆の臨書	1 2	・仮名の成り立ちについて ・いろは(単体) ・蓬萊切 ・三色紙(散らし書き) ・創作
2			
3	【漢字仮名交じりの書】 漢字仮名交じりの書の学習 漢字仮名交じりの書の創作	1 1	・漢字仮名交じりの書の変遷 ・表現の工夫 ・相互鑑賞

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
英語コミュニケーション I	普通科・総合ビジネス科・1年	3	

使用教材	<input type="checkbox"/> Power On English Communication I (東京書籍) <input type="checkbox"/> Power On English Communication I WORKBOOK (東京書籍) <input type="checkbox"/> 単語・熟語 Brick 1 (いっずな書店) <input type="checkbox"/> EARTHRISE アースライズ総合英語 (教研出版)
------	--

科目の目標		
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」の5つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり使えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各課の文法事項、文の形・意味・用法を理解できるようになる。基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につける。学習した用法を話し言葉において、適切な場面・状況で使う技能を身につける。	各課の内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	各課の内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準 (毎日の学習場面での具体的な規準)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

<p>B 評価の規準</p> <p>[わかった・できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各課の文法事項、文の形・意味・用法を理解している。 基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。 学習した用法を話し言葉において、適切な場面・状況で使おうとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[よく考え、意見を持ち、説明できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各課の内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[やり取りができた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各課の内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	Lesson 1 Japan7s New Tourism	5	動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形
	Zoom in with コーパス 1	2	話しことばと助動詞
5	Lesson 2 Light from Creatures	6	受け身，現在完了形，現在完了進行形
	Sounds Interesting 1	1	音節
6	Lesson 3 Routes to the Top	6	動名詞，不定詞，S+V+O [that 節]
	Sounds Interesting 2	1	語の強勢（目立つ音節）
7	Lesson 4 Left to Right, Right?	6	後置修飾の現在分詞，後置修飾の過去分詞，比較級・最上級
	Zoom in with コーパス 2	1	get を使いこなし方
8	Summer Reading Mama's Bank Account	4	既習事項
9	Lesson 5 Banana Paper	6	関係代名詞（主格），関係代名詞（目的格），S+seem+to 不定詞
	Zoom in with コーパス 3	3	話しことばと関係代名詞(1)

10	Lesson 6 Patterns in Human Behavior	6	It+be 動詞+形容詞+that 節, S+V [be 動詞以外+C], S+V+O+C [形容詞]
	Sounds Interesting 3	1	文の強勢 (文末の内容語)
11	Lesson 7 No Plastic or No Future	6	関係副詞 where, 関係副詞 when, 関係代名詞 what
	Sounds Interesting 4	1	音のつながり (同じ子音が連続する場合)
12	Lesson 8 Oh My Cod!	6	現在分詞の分詞構文, 関係代名詞の非制限用法, 過去完了形
	Zoom in with コーパス 4	3	話しことばと関係代名詞(2)
1	Lesson 9 Is E-sports a Real Sport?	6	S+V [知覚] +O+ [現在分詞, 原形不定詞], S+V [使役] +O+C [原形不定詞], S+V+O ₁ +O ₂ [if などの節]
2	Lesson 10 Being Different Is Beautiful	6	wish+仮定法過去の節, 仮定法過去の as if 節, 仮定法過去の if 節
3	Optional Reading THANK YOU, ICHIRO	3	既習事項

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
論理・表現 I	普通科・1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> EARTHRISE English Logic and Expression I Standard (数研出版) <input type="checkbox"/> EARTHRISE English Logic and Expression I レッスンブック Grammar in 24 Lessons (数研出版) <input type="checkbox"/> 単語・熟語 Bricks 1 (いいずな書店) <input type="checkbox"/> EARTHRISE アースライズ総合英語 (数研出版)
-------------	--

科目の目標		
「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各課の文法事項や用法を理解し、必要な背景知識・語彙・表現を用いて、自分の考えを述べるができるようになる。場面に即した内容を書いたり、述べたりする技能を身につける。各課の内容について、クラスメートと伝え合い、その内容について発表する技能を身につける。	各課の情報について整理し、理由を含めて自分の気持ちを伝える文章を書けるようになる。クラスメートと各課の内容について、質問したり、答えたりできるようになる。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表できるようになる。	自分の意見を理由とともに伝える文章を書こうとしている。クラスメートに質問したり、自分の考えを伝えようとしている。各課の情報や内容を整理し、発表しようとしている。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>[わかった・できた]</p> <p>・各課の文法事項や用法を理解し、必要な背景知識・語彙・表現を用いて、自分の考えを述べている。場面に即した適切な内容を書いたり、述べることができる。内容について、クラスメートと伝え合い、その内容について発表している。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>[よく考え、意見を持ち、説明できた]</p> <p>・各課の情報について整理し、理由を含めて自分の気持ちを伝える文章を書くことができる。</p> <p>クラスメートと各課の内容について、質問したり、答えたりできる。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表している。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>[自分の考えを伝えようとした]</p> <p>・クラスメートに質問したり、自分の考えを伝えようとしている。</p> <p>・自分の意見を理由とともに伝える文章を書こうとしている。</p> <p>[相手の質問に答えようとした]</p> <p>・クラスメートとのやり取りで相手の質問に答えようとしている。</p> <p>[発表しようとした]</p> <p>各課の情報や内容を整理し、発表しようとしている。</p>
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は定期考査で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	はじめに	2	英語の語順/品詞 ・英文の基本構造 〈S+V…〉 /各品詞
	Lesson 1 「Introduce yourself to your class」	4	説明・紹介する ・ 〈S+V+C〉/〈S+V+O〉/〈S+V+O+O〉/ 〈S+V+O+C〉
5	Lesson 2 How do you spend your weekends?	4	時を表す (現在・過去・未来) ・ 過去形/現在進行形/will/be going to do/(未来を表す)現在進行形
6	Lesson 3 Where did you go on vacation?	4	時を表す (完了形) ・ 現在完了形/現在完了進行形/過去完了形
	Lesson 4 How can I get there?	4	能力・許可・義務などを表す ・ can/may/must/have to
7	Lesson 5 Would you like to come with me?	4	依頼・勧誘や推量などを表す ・ would/could/may/ 〈should have+過去分

			詞) / 〈must have+過去分詞〉
	Lesson 6 Something really Japanese	2	「～される」を表す ・ 〈be 動詞+過去分詞〉 / be made of ~ / be interested in ~ / be pleased
8	Lesson 6 Something really Japanese	2	「～される」を表す ・ 〈be 動詞+過去分詞〉 / be made of ~ / be interested in ~ / be pleased
9	Lesson 7 Do you have any volunteer activities?	4	「～すること」などを表す (to do) ・ 不定詞の名詞的用法/形容詞的用法/副詞的用法/It is ... to do ~
	Lesson 8 Let's enjoy school life?	2	to do / do を使って表す ・ 〈want+0(人)+to do〉 / 〈see+0(人)+do〉 / 〈let+0(人)+do〉 / 〈make+0(人)+do〉
10	Lesson 8 Let's enjoy school life?	2	to do / do を使って表す ・ 〈want+0(人)+to do〉 / 〈see+0(人)+do〉 / 〈let+0(人)+do〉 / 〈make+0(人)+do〉
	Lesson 9 Are you eco-friendly?	4	「～すること」を表す (doing) ・ 動名詞 (主語になるもの/目的語になるもの/前置詞の目的語になるもの) / 動名詞の否定形
11	Lesson 10 What sports do you like?	4	doing / done を使って説明する (1) ・ 分詞 (限定用法/叙述用法) / excited と exciting
	Lesson 11 That's new to me!	4	doing/done を使って説明する (2) ・ 〈see+0(人)+doing〉 / 〈have+0(物)+done〉 / 分詞構文
12	Lesson 12 Which Nobel Prize winner do you admire most?	4	人や物について説明する (who, which) ・ 関係代名詞 (who/which/that) / 関係代名詞の継続用法
	Lesson 13 I'm interested in history	4	時や場所などについて説明する ・ 関係副詞 (when/how/where) / 関係副詞の継続用法
1	Lesson 14 Various countries around the world	4	比較を表す ・ 〈as ~ as ...〉 / 〈not as ~ as ...〉 / 比較級/最上級
2	Lesson 15 What job are you interested in?	3	仮定を表す ・ 仮定法過去 / I wish+仮定法過去 / 仮定法過去完了
3	パラグラフ・ライティングの基本	2	パラグラフ・ライティング ・ 英語のパラグラフの構成

	ディベートの進め方	1	ディベート ・ディベートの流れ, ディベートでよく使われる表現
	ディスカッションの進め方	1	ディスカッション ・ディスカッションの流れ, ディスカッションでよく使われる表現

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
家庭基礎	普通科・1年 総合ビジネス科・1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍） <input type="checkbox"/> 学習ノート 熊本県版家庭科学学習ノート
------	--

科目の目標		
<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身に付ける。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会の中から問題を見だし、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察し根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知ること・できるようになること、の意味を理解する] ・プリントの記入、スライドの制作、安全への配慮と適切な道具の扱いができ、知識や技術が定着した。 ・調べ学習やプロジェクト学習の視点が定まっており、展開が的確である。	B 評価の規準 [状況に応じ適切に判断し、自分の意見を述べる] ・学習内容に関する自分の意見を表現できる。スライドを見やすく、わかりやすく製作して発表できる。 ・班やグループで意見交換をして考えを深めたり、活動したりすることができた。	B 評価の規準 [粘り強さと向上心がある] ・授業の道具がそろっており時間どおりに授業が開始できる。 ・本時の学習内容を理解し、真剣に粘り強く取り組んでいる。 ・自らのよりよい生活がどうあるべきかを探り、今後の課題を見いだそうとしている。 ・締切日までに提出できた。
※定期考査、実技試験 ※実習・プロジェクト製作物	※定期考査 ※プレゼン内容・発表態度	※プロジェクトの記録 ※学習ファイル・実習の記録
下の項目などのように、特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。 ・社会全体または地域の課題を意識するなど、目的意識を持って学習に取り組んだ。 ・学習や実習活動が的確かつ確実であり、他を率いる存在であった。 ・自らの生活を振り返り改善できた。家族や他者への提案ができた。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション 生涯を見通す 人生をつくる	4	<input type="radio"/> 人生を展望する <input type="radio"/> 目標を持って生きる <input type="radio"/> 人生をつくる
5	人生をつくる これからの生活を創造する	3	<input type="radio"/> 家族家庭を見つめる <input type="radio"/> これからの家庭生活と社会 <input type="radio"/> 生活をデザインする
6	食生活をつくる	6	<input type="radio"/> 食生活の課題について考える <input type="radio"/> 食事と栄養・食品 <input type="radio"/> 調理の基礎 <input type="checkbox"/> 食物調理技術検定 4 級
7	食生活をつくる ホームプロジェクト	5	<input type="radio"/> 食生活の選択と安全 <input type="radio"/> 生涯の健康を見通した食事計画 <input type="radio"/> 食生活と文化の知恵
		3	<input type="radio"/> ホームプロジェクト計画作成 <input type="checkbox"/> 夏休み課題

8	ホームプロジェクト	2	○ホームプロジェクト発表会
9	衣生活をつくる	6	○被服の役割を考える ○被服を入手する ○被服を管理する
10	衣生活をつくる 超高齢社会を共に生きる 共に生き、共に支える	6	○衣生活の文化と知恵 ○これからの衣生活 □被服製作実習
		5	○高齢者の心身の特徴 ○これからの超高齢社会 ○私たちの生活と福祉 ○社会保障の考え方 □認知症サポーター養成講座
11	経済生活を営む	4	○情報の収集と意思決定 ○購入・支払いのルールと方法 ○消費者の権利と責任 ○生涯の経済生活を見通す ○これからの経済生活
12	持続可能な生活を営む	4	○持続可能な社会を目指して ○私たちの生活と福祉 ○社会保障の考え方
1	子どもと共に育つ	6	○命を育む ○子どもの育つ力を知る ○子どもとかわる ○子どもとのふれあいから学ぶ ○これからの保育環境
2	住生活をつくる	4	○住生活の変遷と住居の機能 ○安全で快適な住生活の計画 ○住生活の文化と知恵 ○これからの住生活
3	学校家庭クラブ活動	2	□学校家庭クラブ活動

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
情報1	普通科1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 新編情報Ⅰ 東京書籍 <input type="checkbox"/> ワークブック 新編情報Ⅰ 資料ノート <input type="checkbox"/> PC教材 Life Is Tach Lesson
------	---

科目の目標		
<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p>	<p>様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p>	<p>情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>〔理解できた・完成した〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【まとめ】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 ・説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、<u>適切にメモに残している。</u> 	<p>B 評価の規準</p> <p>〔発展した学習によく考え、取組み、説明できた〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【設問】や【タブレット学習】で仲間と協力して取り組み、<u>自分や班の考えを発表できている。</u> ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、<u>仲間のサイン</u>を受けている。 	<p>B 評価の規準</p> <p>〔粘り強さ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に真剣に取り組む、ネット副教材にじっくり取り組むことができる。 〔自分なりの工夫〕 ・自分の到達目標を決め、予習復習、進んだ学習ができています。特にタブレット学習は、共通テストやITパスポートを目指す人は予習必須です。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ Society5.0 から情報 I の学習目標とシラバスを理解する。 ・ 実習用コンピュータの使い方を理解する。 ・ 情報の特性から情報とは何か理解する。 ・ さまざまなメディアの特性を理解する。
	1 情報とメディアの特性[p. 6] (や) 表現メディアの違いによるメリットとデメリット		
	2 問題解決の流れ[p. 8]	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題を発見・解決するための一連の流れを理解する。 ・ 問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解する。
	発想法[p. 10] 実 41 アイディアの大量生産[p. 118]	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決の各場面で活用できる発想法を学習する。
5	4 情報モラル[p. 12] (や) 法律が社会の変化に対応できていない例 5 個人情報の流出 [p. 14] (2) 個人情報をどこまでイン	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報モラルを理解する。・ 法規や制度および個人の責任を学習する。・ 個人情報を理解する。・ SNS を通して個人情報が流出・特定される仕組みを学習する。・ SNS 等の不適切

	<p>ターネット上に公開できるか6 傷つかない傷つけないために[p. 16] (や) セキュリティ上よいパスワード</p> <p>7 著作権[p. 18]</p> <p>(や) 学校の授業での著作物の扱い</p>		<p>な使い方を理解する。・不正に情報が盗まれることを理解する。</p> <p>・著作権について理解する。</p> <p>・引用の仕方を理解する。</p>
	<p>8 情報技術の発展[p. 20]</p> <p>(や) 電子マネーと現金の比較</p> <p>9 情報化と私たちの生活の変化 [p. 22]</p> <p>10 よりよい情報社会へ[p. 24]</p> <p>(4) サイバー犯罪の対策</p>	2	<p>・画像処理や電子商取引などの新しい情報技術について学習する。・人工知能やロボットなどの情報技術と生活の変化を理解する。・情報化による健康への影響などの問題について学習する。・サイバー犯罪などの問題について学習する。</p>
6	<p>11 コミュニケーション手段の変化 [p. 34]</p> <p>(や) スマートフォンがない時代の生活</p> <p>12 ネットコミュニケーションの特徴[p. 36]</p> <p>(や) 直接会うことができない場合のメディアの選択</p>	2	<p>・メディアとコミュニケーションの変遷を学習する。</p> <p>・メディアの特性について学習する。</p> <p>・近年のソーシャルメディアによる人のつながりを理解する。</p> <p>・ネットコミュニケーションの特徴である記録性や匿名性について学習する。</p>
	<p>13 デジタル世界へ[p. 38] (や) アナログ表示とデジタル表示比較 14 数値と文字のデジタル表現[p. 40]</p>	1	<p>・デジタルデータとは何か</p> <p>・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。</p> <p>・2進法と情報の単位</p> <p>・文字のデジタル表現</p>
	<p>15 音と画像のデジタル表現 [p. 42] 16 色と動画のデジタル表現 [p. 44] 17 目的に応じたデジタル化 [p. 46] (や) スマートフォン圧縮形式</p>	2	<p>・音、画像、動画のデジタル化。・デジタルでの色の原理。・デジタル情報の品質の違い。・データ圧縮</p>
7	<p>18 情報デザイン[p. 48]</p> <p>(や) 学校 Web サイトの階層構造の調査</p> <p>実 49 図解表現[p. 126]</p>	3	<p>・情報デザインとは何か学習する。・情報デザインの方法である抽象化、可視化、構造化を理解する。・学校の Web サイトがどのような階層構造になっているか調べる。・情報デザインの方法を使って分かりやすい文書を作成する。</p>
	<p>19 ユニバーサルデザイン[p. 50]</p> <p>(や) 身の回りの機器のユーザインタフェースの改善 20 情報デザインの流れ[p. 52]</p> <p>(や) ユーザを地域の高齢者と想定したとき、どのような分析ができるか</p>	2	<p>・ユニバーサルデザインについて学習する。・ユーザインタフェースについて学習する。・情報デザインのプロセスを理解する。・情報デザインのプロセスを活用する方法を身につける。・デザイン思考に基づいた分析を理解する。</p>

	考える		
8	実 51 映像制作[p. 130]	2	・映像作品を制作する。
9	21 コンピュータとは何か [p. 62] (や) コンピュータが入っている製品 22 ソフトウェアの仕組み[p. 64] (や) プログラミング言語の種類	3	・コンピュータの基本構成について理解する。 ・ハードウェアとソフトウェアについて理解する。 ・プログラムの動作の仕組みについて学習する。
	23 演算の仕組みとコンピュータの限界[p. 66]	2	・コンピュータの演算の仕方について学習する。 ・コンピュータの処理のための基本的な回路について学習する。
10	24 アルゴリズムの表現[p. 68] (問題) 通学方法の判断 25 プログラムの基本構造 1[p. 70] (問題) 円と三角形の面積	3	・アルゴリズムの必要性を理解する。 ・アルゴリズムの表現方法について学習する。
	26 プログラムの基本構造 2[p. 72] (問題) 3 の倍数を判定 (問題) 偶数を表示	2	・プログラムの作り方について学習する。 ・プログラムの制御構造について学習する。
11	27 発展的なプログラム 1[p. 74] (問題) 7 で割った余りが 3 となる数の表示 実 52 気まぐれ AI[p. 132] 28 発展的なプログラム 2[p. 76] (問題) おみくじゲーム	3	・プログラムで制御構造を組み合わせる方法を学習する。 ・プログラムの配列とリストについて学習する。 ・簡易な対話プログラムを開発する。 ・プログラムでの関数の利用について学習する。
	29 モデル化とシミュレーション [p. 78] 30 シミュレーションの活用[p. 80] 実 55 シミュレーション[p. 137]	2	・モデル化の考え方と、モデルの分類について学習する。 ・シミュレーションによるモデルの評価について学習する。 ・モデル化とシミュレーションにおける注意点を学習する。 ・テーマを決めて、表計算ソフトウェアでシミュレーションを行う。
12	31 ネットワークとインターネット [p. 90] (や) インターネットの今後の利用 32 インターネットの仕組み [p. 92] (や) 学校のコンピュータの IP アドレス 33 サーバとクライアント	2	・情報通信ネットワーク・LAN と WAN・プロトコル、TCP/IP・ネットワーク構成ハードウェア・サーバの役割・インターネットでの IP アドレスと DNS ・認証後に使えるようになるサービスには、どのようなものがあるか調べる。

	[p. 94] (や) 認証後に使えるサービス		
	各 34 インターネット上のサービス [p. 96] (や) ネットワークが繋がらなくなったときの対応	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ WWW を理解する。 ・ 電子メールについて学習する。
	35 情報セキュリティ [p. 98] (や) 学校内の情報セキュリティ技術	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報セキュリティの機密性, 完全性, 可用性を理解する。 ・ 情報セキュリティを確保するための方法・技術について学習する。
1	36 データの形式 [p. 100] (や) 身近にあるデータの質的データ, 量的データおよび各尺度の判断	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ データとは何か学習する。 ・ データの尺度とは何か学習する。
	37 データベースの活用 [p. 102]	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ データベースの役割がどのようなものか理解する。
	38 さまざまなデータモデル [p. 104] 実 59 コンビニデータベース [p. 142] (や) 関係データベースの利点	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会のデータベース活用例を学習する。 ・ データベースで使用するデータモデルについて学習する。 ・ 関係データベース分析して, 解釈する。
2	39 データ分析の流れ [p. 106] (や) クロス集計表の結果の考察	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ データ分析の流れと方法を学習する。
3	40 目的に合わせたデータの利用 [p. 108] (や) 欠損値や外れ値が含まれていた場合の分析結果	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分析の目的に合わせたデータの利用方法を学習する。 ・ 適切なデータの解釈方法を学習する。